
















# 女学館の歩みとともに ～トロット年譜～

年代	1885年(明治18)	1888年(明治21)	1910年(明治43)	1913年(大正2)	1914年(大正3)	1918年(大正7)	1923年(大正12)	1924年(大正13)	1925年(大正14)	1927年(昭和2)	1928年(昭和3)	1929年(昭和4)	1930年(昭和5)	1931年(昭和6)	1936年(昭和11)	1938年(昭和13)	1939年(昭和14)	1941年(昭和16)	1943年(昭和18)	1944年(昭和19)	1945年(昭和20)	1947年(昭和22)	1948年(昭和23)	1951年(昭和26)	1953年(昭和28)	1954年(昭和29)	1956年(昭和31)	1957年(昭和32)	1958年(昭和33)	1964年(昭和39)	1968年(昭和43)
ミス・トロット	4月12日、イギリスに生まれる。	3歳	25歳 来日し、聖アンデレ教会で多くの働きを行う。 東京女学館に英語教師として着任。	 着任の頃	 「おトロ」の愛称で親しまれていた頃、校庭にて	一年間、神戸の松陰女学校で教鞭。	40歳 平河町の女子寄宿舎聖マリア館が聖アンデレ教会に移され、そこに居住。 生徒の洋装に関する注意書を父兄へ通知。	明治43(1910)年9月～昭和16(1941)年3月	51歳 英語のブロック体教本を著作。	58歳	聖マリア館が戦災で焼失。	ニュージランドへ一時帰国。	63歳 時田誠主教より聖アンデレ教会に招聘の依頼をされ、5月14日に英国SPGより派遣され、再来日。 英語のブロック体習字教育を復活。	昭和23年(1948)3月～昭和32(1957)年3月	 叙勲	 叙勲	72歳 3月、英国へ帰国。 帰国送別会開催。	 送別会	83歳 11月26日、ロンドンのチェスターにて永眠。 享年83歳。												
東京女学館のあゆみ	翌1886年(明治19)、東京女学館の前身「女子教育奨励会創立委員会」が設立。	創立25周年  当時の卒業写真	創立30周年 同窓会・白菊会発定、「志ら菊」発刊。 第4代館長・神田乃武就任。	第一次世界大戦	関東大震災により虎の門校舎全焼。 渋谷・羽沢の御料地に仮校舎を建設し授業再開。	第5代館長・澁澤榮一就任。  渋谷校舎正門(仮校舎)	羽沢本校舎落成。創立40周年。 セーラー服等三種の標準服を制定。  羽沢本校舎	小学校開設、まもなく小学部と改称。 羽沢本校舎落成。創立40周年。	白いセーラー服を制服と制定。 第6代館長・櫻井錠二就任。 満州事変	制服写真(普通科と小学科) 	普通科を中等科、小学部を初等科と改称。 2・26事件 創立50周年 第7代館長・松浦鎮次郎就任。 第二次世界大戦	戦時中の国防服 	太平洋戦争 校章・校旗の制定。  校章	空襲により講堂(のちの第二体育館)に ポツダム宣言受諾(敗戦) 焼夷弾命中。  焼失した木造雨天体操場	第8代館長・澤田源一就任。 633制による中学校、翌年高等学校開設。	創立60周年 東京女学館校歌(尾上柴舟作詞・小松耕輔作曲)制定。 校友会が機関誌「菊」を創刊。  「菊」創刊号	専攻科開設。軽井沢学習寮設置。 学制発布80周年 学校法人東京女学館認可。  校門(英語の門標)	短期大学認可。	生徒会発定。 創立70周年 東京オリンピック開催 東海道新幹線開通	追悼会 	創立80周年										